藤女子大学
図書館だより
Fuji Women's University Library
秋号
No.94
2017.10

CONTENTS

1. “心の作業場”としての図書館
…… 食物栄養学科 隈元 晴子
4. 第2回 学生選書ツアー開催
5. LiSt活動報告 第1回
6. 教員著作紹介
7. 図書館委員会からのお知らせ
8. 図書館資料Navi 第10回
失われた意味を求めて
—*Oxford English Dictionary*
…… 英語文化学科 岡本 晃幸

“心の作業場”としての図書館

食物栄養学科 隈元 晴子

図書館は、学生時代の私にとって大切な居場所のひとつでした。図書館の魅力は、静かで落ち着くことのできる空間であることや、豊富な蔵書の中から求める一冊を探し出したり、ゆっくりと背表紙を眺めながら歩くことで、ある種のインスピレーションを与えられたりすることだと思います。当時まだ新築だった本学の花川キャンパスの図書館では、本たちが恥ずかしそうにそこに佇むばかりで、新しい建物が放つ匂いに圧倒されているようでした。そのため私は放課後になると、成熟した本たちが空間に放散する匂いを求めて、好んで北16条キャンパスの図書館を利用しました。

2年生のときライフステージ別の栄養学を学ぶ授業で、妊娠期の女性に特有の栄養問題についてまとめるというレポート課題を出されたことがありました。栄養系の書籍はすべて花川図書館に所蔵されていたため、手がかりが少ないなかの作業です。ふと「妊娠って、英語でなんというのだろう?」と思いたち、和英辞典を調べてみました。「pregnancy」あるいは「gestation」。そして、そこら辺にある分厚い英語の本を手当たり次第に開き、索引でこれらの単語を探してみました。すると、辿りついたページにはまず、アメリカのある地域において食材に含まれる「ヨウ素」という栄養素が、その地域住民の健康を脅かしていることが記されていました。授業では妊娠に伴いヨウ素の必要量が増すため、摂取量を増やさなくてはならないと学んだのですが、その地域に特有の問題として、

次ページへ続く↗

食材に含まれるヨウ素の量が多いことから、この栄養素の過剰摂取による甲状腺の異常や、胎児への悪影響があることが書かれていたのです。私はこの文献を読んではじめて、教科書で学ぶことは基礎なのだということに気づきました。そして、国や地域、あるいは個人の生活習慣や病態等によって栄養の問題が異なることがあるため、さまざまな視点から現状を把握することが重要であると考え、そのことをレポートにまとめました。

もう一つ、ノスタルジックな図書館の風景とともに思い出されるエピソードがあります。のちに国の重要文化財に指定された校舎の中に、私の高校の図書室はありました。2年生の頃だったと思います。修学旅行で広島を訪れるに先立ち、2年生全員に「1945年8月6日」というタイトルの本が配布され、事前学習の一環として夏休み中に感想文をまとめるという宿題が与えられました。読む本は自分で選びたいというくだらない想いから、私はしばらくその本を開けずにいました。夏休みが残りあと2～3日というときに、いよいよ宿題をやらなくてはと思い、その本を手に図書室へ行きました。図書室でなら、本を読むことができるのではないかと考えたからです。私は本を開き、恐るおそる「あとがき」だけを読んでみることにしました。すると、作者が伝えたかったことや当時の人々の暮らしのようす、原爆投下後の光景などに自ずと想いが廻らされ、1945年8月6日の出来事についてもっと知りたくなり、図書室にある関連書籍を調べていくうちに自分自身の考えが構築されていくのを感じました。そして、課題図書の本文は読まずに、その場で一気に与えられた文字数を書き終えたのでした。（読書感想文とは到底言うことのできないこの文章は、修学旅行から帰ってまもなく校内の読書感想文コンクールで賞をもらうことになってしまいました。そのため、慌てて本文の内容を確かめるために、あとからこっそり読んだという後日談があります。良書だったことを付け加えさせていただきます。）

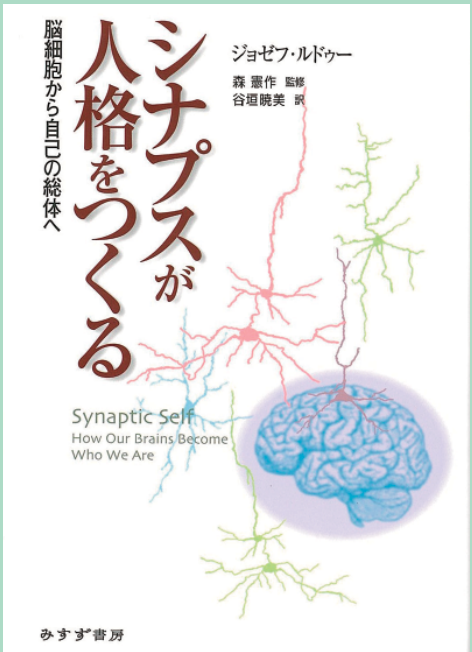
二つのエピソードは、図書館でしか得られない学びがあることを証明するものです。このように、図書館は新たに与えられた情報に、すでに自分の中にある知識を結びつけたり、想像を巡らしたりすることで、新たな知識を生産するのを助けてくれる場所でもあると言えます。つまり、処理すべき目の前にある情報に、さまざまな記憶の引き出しからの情報と新たな情報とを繋ぎあわせ、近い将来に行動を起こすときにはたらく「ワーキングメモリー」を洗練させるのに相応しい場所なのではないかと思います。ワーキングメモリーとは短い時間に複数の情報を留め、処理するための“心の作業場”のことです。ワーキングメモリーは他者とコミュニケーションを図ったり、いくつかの作業を並行して行ったりするときなどに活性化しますが、レポートや感想文をまとめる作業もワーキングメモリーを積み上げたものと考えることができます。大きな違いがあるとすれば、ワーキングメモリーは行動が終われば直ちに捨てられてしまう「付箋紙」のようなものであるのに対し、レポートなどはこれらの付箋紙に書かれたメモを拾い集め、思考の過程や成果を記録としてまとめあげることによって、

長期記憶として保持するのを助ける作業と言えるかもしれません。

私たちは常に雑多な情報を処理しながら生きています。たとえば、生理的に「おなかがすいた」と感じたとします。すると、まずは「空腹感」という素材が“心の作業場”に現れます。そして、最終的に空腹感を満たす行動を起こすために必要なさまざまな情報を“心の作業場”に足していきます。すでに保持している記憶の中から「過去に食べたさまざまな料理の名前やその味、におい、触感、材料」「現在地から行くことのできる店の場所や品揃え」「目の前にある飲食店のチラシ」「財布の中身」などの情報を引き出し、次々と“心の作業場”に並べていき、近い未来の計画（料理をしよう、あるいは外食をしに行こうなど）を立てるのです。ほかにも、目の前にいる人の心の内面を察する際に、過去にその人と交わした会話やともに過ごした経験などのさまざまな記憶を“心の作業場”に並べ、新たに入手した情報も追加していき、その人の心情に対応するための意思決定をするのもワーキングメモリーです。一見当たり前のように感じるかもしれませんが、現代社会では一方的に与えられるだけの情報や簡単に答えが導き出せるツールが氾濫しているため、ワーキングメモリーのはたらきが減弱することが懸念されています。

このように図書館は私たちがすでに保持している記憶に、自分自身の気ままな時間軸の中でさまざまな情報を繋ぎあわせることにより新たな学びを生み出し、それを長期記憶として保持するのに適した空間と言えるのです。

さまざまな考えを創造し、記憶に刻む場としての図書館に、学生のみなさんも足を運んでみてはいかがでしょうか。



『シナプスが人格をつくる：脳細胞から自己の総体へ』
請求記号：491.3／L 49（花川館所蔵）

『社会脳の発達』
請求記号：143／Se66（花川館所蔵）

記憶や情動などを扱う神経科学分野で、私が一番お気に入りの本は、ジョゼフ・ルドゥー著『シナプスが人格をつくる』（みすず書房）（写真左）です。もう少し易しい内容では、千住淳著『社会脳の発達』（東京大学出版会）がおすすめです（写真右）。いずれも脳の発達や人間形成にとって、さまざまな経験をいかにして重ねていくかが大切であるということがわかる良書です。

第2回　学生選書ツアー開催

2017年6月23日、24日の2日間、両日合わせて22名の学生が参加し、紀伊國屋書店札幌本店で選書ツアーを実施しました。

今年度から学生アルバイトがSJ（スチューデント・ジョブ）へと変わり、カウンター業務以外にも図書館のスタッフとして働いています。選書ツアーに参加したSJスタッフ2名、学生さん2名に感想をいただきました。

SJ小山さん

今回、6月23日にSJスタッフ写真撮影担当として参加し、6月24日に一般の参加者として参加しました。高校時代にも選書したことがあったのですが、今回は初めてハンドスキャナーを使用しての選書で新たな体験をすることができました。撮影スタッフとして参加した23日は一人一人の参加者の方と話しながら撮影をさせてもらいました。話しながら撮影することによって、参加者さんがとても楽しそうに選書している姿を撮影できたり、参加者の方達の本に対する熱意を沢山聞くことができたりして、とてもいい経験をすることができました。24日は参加者として選書しました。気づいたこととして、ほしい本が既に藤の図書館に入っていることが多いということがあり、これからもっと図書館を利用しようと思いました。最近忙しくてじっくり本屋さんを回ることができなかったので、今回2時間じっくり回れて本当に楽しかったです。2日間、違う目線で選書ツアーに参加できたことが個人的にとても楽しかったです。次回どちらの立場で参加できるかわかりませんが、選書ツアーにはまた参加したいです。

SJ白川さん

私は6月に行われた選書ツアーの2日目に同行しました。現在私はSJスタッフという形で図書館に勤務しています。その業務の一環として、選書ツアー参加者の皆さんが本を選んでいる様子を撮影させていただきました。

私は以前から選書ツアーに関心を持っていましたが、図書館に相応しい本を選べるか自信が無く、今まで参加したことはありませんでした。そのため撮影スタッフとしてではありますが、個人的には今回が初めての選書ツアーでした。

私が同行した2日目の参加人数は両学部合わせて11名で、紀伊國屋書店札幌本店で選書させていただきました。参加者の皆さんは各々自分の世界に入っており、真剣に本を選んでいる様子がうかがえました。中には事前にどの本を選ぶか調べてきたという方や、2時間を目一杯使って選んだ方もいたようです。

今回同行してみて、選書ツアーは想像していたよりも自由に本が選べることがわかりました。私も今度は参加者として選書してみたいと思っています。本が好きな方や図書館が好きな方は是非、次回の選書ツアーに参加してみてください！最後に、今回参加してくださった皆さん、選書お疲れ様でした。選ばれた本が今後多くの方の役に立つことを期待しています。また、撮影を承諾してくださりありがとうございました！

選書ツアーに参加した学生さんから

文学部　日本語・日本文学科2年　齊藤さん

前回のツアーから約半年、今回2回目だと聞く選書ツアーに参加させて頂きました。過去の図書館だよりでその存在を知り、なんて素敵な企画だろうと心踊ったのを覚えています。今回も参加者募集の旨を知り、すぐに申し込みました。

当日は、あらかじめ目星をつけていた本に真っ先に向かい、それから散策もかねて本棚をじっくり回りました。結果私が選んだのは、日本語教員養成課程に利用できるもの、個人的な趣味の神経心理学の名著などです。図書館では一定期間ポップと共に紹介されるので必見です！

紀伊國屋書店での選書でしたが、書店にないものまで取り寄せが可能である点は、本当に便利だったなと思います。実に楽しい、贅沢な企画をありがとうございました。

人間生活学部　保育学科4年　加藤さん

鈴木のりたけさんのケチャップマンは、シュールな絵でTwitterなどで話題になった絵本です。表紙だけ見て気になっていた人も多いはずです。主人公はバイトで店長に怒鳴られていたり、アパート暮らしだったり、ケチャップという外見にもかかわらず意外と親近感がわきます。子どもにはナンセンス絵本として、大人にはナンセンスな中にもメッセージ性を感じる絵本として楽しめる作品です。ケチャップやトマトが登場するので保育の導入などにも使えると思います。

今回私が選書ツアーに参加したのは、卒論の資料集めが主な目的でしたが、卒論の資料も見つけられた上に、実際に書店を訪れたことで掘り出し物を発見することができて有意義でした。

LiSt 活動報告　第１回

[多岐に渡る図書館SJ活動]

今年からSJのリーダーとして活動に参加しています中嶋です。SJ（スチューデント・ジョブ）とは図書館で働く学生スタッフのことで、図書館での配架作業や貸出・返却業務、書架整斉、除籍作業、月1回のミーティングや選書ツアーへの参加など、様々な活動を行っています。

図書館での作業は、一般的な図書館職員への印象と異なる点が多く驚きの連続です。多くの人からは図書館での作業は単調と思われがちですが、全くそんなことはなく、力と頭を使う作業が多いです。実際に作業を行ってみてわかることが沢山あり、これから更に図書館での業務について勉強していきたいと思っています。

また、北16条キャンパスSJが月1回業務時間外に行っているミーティングでは、花川館と協同してSJの愛称を考えたり、スタッフグッズ作成の検討などを行いました。私達SJは今後「LiSt」という愛称で活動する運びとなり、グッズは藤女子大学図書館キャラクター「きしんさん」をイメージしたエプロンを考案中です。

またその他にも、本館ミーティングでは一人ひとりが業務で改善すべき箇所を提案し、着手できる部分から職員の方々と共に改善に努め、各々が図書館のことを考え行動しています。

6月には選書ツアーにSJとして参加しました。ポスター作成などの事前準備を行い、当日は補助としてツアーに同行しました。また、事後活動として選書ツアーの展示に向けたポップ作成説明会を実施しました。

北16条キャンパスSJの後期の活動については、SJ主催のイベントや外部機関と連携した企画などを実施する予定です。これを機に図書館外にも活動の幅を広げていきたいと考えています。

（中嶋）

教員著作紹介

先生方の著作を掲載しています。それぞれ所蔵館の教員著作コーナーに本がありますので、ぜひご利用ください。

『明治二十年代　透谷・一葉・露伴 日本近代文学成立期における〈政治的主題〉』関谷博著

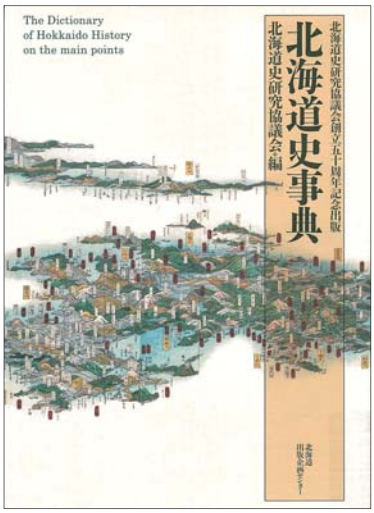
翰林書房発行　2017年3月1日　所蔵館：本館

日本語・日本文学科　**関谷　博**

明治二十年代は、身分意識に裏打ちされた旧社会を解体し、産業化に向けて諸個人を新たな公領域に再編させようとする政府の施策が、制度面で整い（明治典憲体制）、実際面でも本格始動した（日清戦争・第1次産業革命）時代です。新たなその公領域は、自由で平等な諸個人の連帯の場となる可能性を孕みつつも、かつてない浸透力をもって国家権力が効率的に国民を統御しようとする、せめぎ合いの空間でした（自由民権運動とそれへの弾圧、臣民化への道）。ちょうどその頃、作家活動を始めたのがタイトルに掲げた三人の文学者です。

たとえば北村透谷は、旧来の色恋沙汰に〈恋愛〉という精神的価値を付与したことで有名です。そこには共同体的因習から自由な男女の連帯の神話（カップルの誕生）という側面があったわけですが、一方でそれは、新たな公領域への参加を許された、ないしは強制された男に慰安を与えるための〈家庭〉に女を囲い込むワナでもあることを、樋口一葉は暴露しました。

時代の最深部で何が起こっていたのか?―三人の文学者の書き残したものを通じて考えてみました。



『北海道史事典：北海道史研究協議会創立五十周年記念出版』北海道史研究協議会編

北海道出版企画センター発行　2016年6月18日　所蔵館：本館

文化総合学科　**松本あづさ**

『北海道史事典』は、北海道史研究協議会（道史協）という研究会が創立50周年を記念して出版したものです。「事典」といっても五十音順に事項を説明する形式ではなく、「読む事典」という形がとられています。

具体的には、北海道史を三つの時代（前近世・近世・近現代）に分け、それぞれの時代に特徴的な項目を立てています。全部で144ある項目の一部をあげると、「北海道の縄文文化・続縄文文化」（前近世）、「考古学の成果とアイヌ文化」（前近世）、「松前地と蝦夷地」（近世）、「津波と噴火の北海道史」（近世）、「東西蝦夷地のアイヌ文化」（近世）、「アイヌ語地名の近現代」（近現代）、「女子教育の展開」（近現代）、「占領と道民」（近現代）、「戦後におけるアイヌ民族の動向」（近現代）などがあります。

タイトルだけでも多様な北海道史のあり方が見えてくるかと思いますが、実際に一つの項目を読むと「道史の流れの重要なポイントを理解することができる」（はしがき）構成になっています。

ちなみに、道史協の事務局は、北16条キャンパスから歩いて5分ほどの北海道出版企画センターにあります。ぜひ身近な場所で編まれた「北海道史」の世界に触れてください。　＊文化総合学科　大矢一人先生も執筆されています。

『医療保育セミナー』日本医療保育学会編

建帛社発行　2016 年 5 月 10 日　所蔵館：花川館

保育学科　**吾田富士子**

子どもの保育にかかわる保育士は、保育所や児童福祉施設だけでなく、子どもが入院している病院や、入院するほどの重い病気ではないけれど、保育園に行けるほど回復していない子どもを保育する病児・病後児保育をしている機関でも働いています。

健康な状態でないときにも、子どものQOLを保障できるように、2002年度より診療報酬に保育士等加算が導入され、全国の小児科のある病院を中心に保育士が配置されました。

子どもが入院している病棟で働く保育士は、北海道では十数名、全国でもまだ数百名しかいません。ちなみに、諸外国ではアメリカのチャイルド・ライフ・スペシャリスト(Child Life Specialist)、イギリスのホスピタル・プレイ・スペシャリスト(Hospital Play Specialist)が入院児にかかわっていますが、ほぼすべての病院に配置されています。

日本では1954年に聖路加国際病院に保育士が一人配置されたのが始まりで、徐々に医療現場で働く保育士は増えていますが、医療保育の歴史も浅く、またそこに携わる保育士の数も少ない現状にあります。

本書は、このような医療が必要な子どもにかかわる保育士のためのテキストです。多くの現場の保育士たちの実践知が生かされた最新の医療保育の専門書でありますが、すべての保育士、医療従事者、子どもにかかわる大人の方々に読んでいただきたい書籍です。

＊吾田先生は第7章の執筆責任者をされています。

図書館委員会からのお知らせ

2017年度図書館委員

図書館長
　渡邉　浩（文学部・文化総合学科）

委員・文学部
　井筒　美津子（英語文化学科）
　関谷　博（日本語・日本文学科）
　平井　孝典（文化総合学科）

委員・人間生活学部
　飯村　しのぶ（人間生活学科）
　小山田　正人（食物栄養学科）
　新海　節（保育学科）

委員・職員
　中村　友昭（図書課長）
　麓　あゆみ（花川オフィス図書課係長）

北16条北側校舎解体・新築工事に伴う図書館利用について

図書館へは1階玄関（図書館看板）の扉から仮通路を通って図書館・講堂棟2階入口から入館してください。20時以降については、入ることができませんのでご注意ください。暫くの間ご不便をおかけいたしますがご了承ください。

2017年度図書館委員会として実行すべき課題

①図書館ラーニング・コモンズの活発な活用
②図書館と学生、および教員との協働
③図書館内施設および設備関連の整備

一歩一歩ではありますが、スチューデント・ジョブとの協働で、魅力的な図書館づくりができればと考えております。

オープン・ライブラリーの実施

昨年度に引き続きオープン・ライブラリーを実施することになりました。期間は、8/7㈪～10/31㈫と1月～3月末まで（ただし、試験期を除く。詳しくはHPでご確認ください。）の2回の実施となります。この期間は女子高校生が本学図書館を利用することができます。在学生のみなさんに迷惑がかからないように配慮しますので、みなさん是非ともあたたかく迎えていただければと思います。

図/書/館/資/料 Navi（ナビ） 第10回

失われた意味を求めて
——*Oxford English Dictionary*

英語文化学科　岡本　晃幸

『オックスフォード英語大辞典』*Oxford English Dictionary*は世界最大の英語辞書で、通常*OED*（オー・イー・ディー）と呼ばれています。

各ページ虫眼鏡で見ないといけないぐらい小さい字でびっしりと書かれ、1巻約1200ページが全部で20巻もある超大型の辞書です。なぜそんなに大きいのかというと、*OED*にはある単語の現在の意味だけでなく、綴りの変遷、語源、各意味の初出を含めた用例、そして今では失われてしまった意味などが載っているためです。昔は*OED*を手元に置いて本当に辞書として使っていた先生もいらっしゃったようですが、今では古い英語を読むときに使われることが多いです。

例を挙げながら*OED*の使い方を見てみましょう。イギリスの詩人ジョン・ミルトンは、聖書の楽園喪失の神話を題材に『失楽園』*Paradise Lost*（1667、1674）という叙事詩を書きました。その9巻に“O Eve, in evil hour thou didst give ear / To that false worm.”という一節があります。これは神に禁じられていた知恵の実をイブが食べてしまったことを知ったアダムの言葉です。下線部の“worm”という語は「虫」という意味で中学や高校で習ったはずですが、ここまでに「虫」は出てきていません。アダムは何のことを言っているのでしょうか。早速“worm”を*OED*で引いてみましょう。すると最初に出てくる意味、つまり一番古い意味は“A serpent, snake, dragon.”となっていて、先ほどの『失楽園』の一節が用例として挙がっています。語源のところでも、古ザクセン語で“serpent”にあたる語が語源の一つとして挙げられています。つまり“worm”は元々「蛇」という意味だったのです。ちなみに“dragon”も*OED*の一つ目の定義は“A huge serpent or snake; a python.”となっています。従ってこの一節の意味は「ああイブよ、お前は悪しきときにあの偽りの蛇に耳をかしたのか」です。もちろん楽園でイブをそそのかした「偽りの蛇」とはサタンのことです。そういえばイギリスロマン派の詩人ウィリアム・ブレイクの「病んだ薔薇」“The Sick Rose”（1794）という謎めいた詩にも、「病んだ薔薇」にとりつく謎の“worm”が出てきます。薔薇を蝕む「虫」が、楽園を侵した「蛇」に重なっているのかもしれませんね。

worling, var. WARLING *Obs.*

worm (wɜm), *sb.* Forms: 1 wyrm, 3, 5–6 *Sc.* wirm(e, (3 wrim, 5 wyrme, 6 *Sc.* virme); 1–3 weorm, 3–5 werm, 4–5 werme; 1–4 wurm, (3 wurem, *Orm.* wurrm, 3, 5 wrm); 6 wourme, *Sc.* woirme, 6–7 woorme, 4–7 worme, 3– worm. [OE. *wyrm* (:—**wurmi-z*) = OFris. *wirm* (WFris. *wjirm*, NFris. *wurm*), EFris. *wurm*), OS. *wurm* serpent (MLG., LG. *worm*, MDu., Du. *worm*), OHG., MHG., G. *wurm* †serpent, worm; also (with *a*-stem) ON. *ormr* (for **wormr*) serpent (Sw., Norw., Da. *orm*); the stem of Goth. *waurms* δράκων is uncertain. Related to L. *vermis* worm, Gr. *ῥῖψ*, *ῥῑπός* wood-worm.

In this word, as in woman and woor, the spelling *wo* is an early graphic substitution for *wu* (cf. ME. *wulf*, *wolle*, *wonder*, for OE. *wulf*, *wull*, *wunder*), and this again is a reversion from OE. *wy* (i.e. *wü*) to the unmutated vowel through the influence of the following *r*. More normal developments of OE. *wyrm* appear in the ME. (eastern and Sc.) *wirm* and (south-eastern) *werm*.]

I. 1. A serpent, snake, dragon. Now only *arch.*

Beowulf 2287 þa se wyrm onwoc. *c* 1000 ÆLFRIC *Deut.* xxxii. 24 Ic sende wildeora teð on hi mid wurmum & næddrum. *c* 1250 *Gen. & Ex.* 321 He.. Wente in to a wirme, and tolde eue a tale. *c* 1290 *St. James* 179 in *S. Eng. Leg.* 39 A fuyr Drake par-opon a-zein heom cominde huy seyze.. Anon hadde þis luþere worm is pouwer al ilore. *a* 1300 *Cursor M.* 5896 þan tok aaron þis ilk yeird, And on þe flore he kest it don, And it become a worme felon. 13.. *Gaw. & Gr. Kn.* 720 Sumwhyle wyth wormes he werres, & with wolues als. 1362 LANGL. *P. Pl. A.* XI. 66 Whi wolde God vr sauceur suffre such a worm In such a wrong wyse þe wommon to bi-gyle? *c* 1475 *Partenay* 5859 The serpent fill don dede.. Which worme was ny ryght ten hole feete of lenght. 1526 TINDALE *Acts* xxviii. 4 When the men off the countree sawe the worme hange on hys honde. 1606 SHAKS. *Ant. & Cl.* v. ii. 243 Hast thou the pretty worme of Nylus there, That killes and paines not? 1667 MILTON *P.L.* IX. 1068 O Eve, in evil hour thou didst give eare To that false Worm. 1727 POPE *To Mr. John Moore* iii, That ancient Worm, the Devil. 1778 W. HUTCHINSON *View Northumb.* II. 162 The Laidley Worm of Spindleston Heughs. 1784 COWPER *Task* VI. 780 The mother sees, And smiles to see,

*OED*を引くとある語の持っている歴史や意外な意味を知ることができます。昔は持ち上げるのも一苦労の重さでしたが、今は図書館のホームページからウェブ版が利用できます。試しに知っている単語を引いてみてはいかがでしょうか。

＊学内からのみ利用可能です。

『*Oxford English Dictionary*』請求記号：833.1／O93:1／1-20（本館所蔵）

●編集後記●

図書館だより94号をお届けします。

今号は、巻頭言では、「“心の作業場”としての図書館」と題し、隈元先生から、図書館の魅力やその思い出についてご寄稿いただきました。私も学生として図書館を利用していた頃のことを懐かしく思い出しました。

教員著作のページでは、文学部から関谷先生、松本先生、人間生活学部から吾田先生にご著書をご紹介いただきました。いずれも図書館に所蔵がありますのでぜひ読んでみてください。

図書館資料Naviでは、岡本先生より『OED』をご紹介いただきました。辞書を引く楽しさを学生のみなさんにも感じていただけたらと思います。

また、新連載として、今年度より活動を開始したスチューデント・ジョブの「活動報告」が始まりました。こちらはこれからも、図書館＋学生の新しい取り組みについてお伝えしていきたいと思っています。この記事を通じて、少しでも図書館の活動に興味を持っていただければ嬉しいです。

今回も発行にあたり、たくさんの方々にご協力いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。（N.K.）

スマートフォンではアプリを利用できます

図書館キャラクター「きしんさん」

藤女子大学　図書館だより　第94号 2017.10
発行者　藤女子大学図書館 札幌市北区北16条西2丁目
TEL 011-736-5407　FAX 011-709-4770
http://www.fujijoshi.ac.jp/library/